

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

事業名：一般国道3号（南九州西回り自動車道） 芦北出水道路		事業区分：一般国道 （高規格B）	事業主体：国土交通省 九州地方整備局
起終点：自：熊本県葦北郡芦北町花岡 至：鹿児島県出水市下知識		延長：約29km	
事業概要： 南九州西回り自動車道は、八代から鹿児島市に至る延長約140kmの高規格幹線道路であるほか、九州南西部の地域経済の活性化、高速定時性の確保に大きく寄与する重要な路線である。芦北出水道路は、その一部を構成し、九州新幹線との立体交差を含む延長約29kmの道路である。			
H5年度事業化	H年度都市計画決定 （H年度変更）	H12年度用地着手	H年度工事着手
全体事業費	約1,421億円	事業進捗率	3%
計画交通量	18,800～24,100台/日		
費用対効果 分析結果	B/C （事業全体）	1.9	総費用：（残事業）/（事業全体） 976 / 1,031億円 （事業費：883/938億円） 維持管理費：93/93億円
	（残事業）	2.0	
総便益：（残事業）/（事業全体） 1,930 / 1,930億円		総便益：（残事業）/（事業全体） 1,930 / 1,930億円 （走行時間短縮便益：1,586/1,586億円） （走行費用減少便益：212/212億円） （交通事故減少便益：131/131億円）	
基準年：平成15年			
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（拠点都市間を高規格幹線道路で連絡） ・個性ある地域の形成（水俣エコタウン事業等の支援） 他7項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 芦北出水道路は、九州南西部の活性化、高速定時性の確保等に重要な役割を果たすことが期待されており、出水市、水俣市をはじめとする関係8市19町4村の首長及び議長で構成される南九州西回り自動車道建設促進期成会より毎年早期整備の要望を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 沿線地域の唯一の幹線道路である国道3号の交通量は年々増加しており、大型交通量も多いことから、沿線環境の悪化などを引き起こしている。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 芦北出水道路は、平成3年12月に基本計画を策定し、平成5年度から事業に着手し、用地調査及び用地買収を実施しているところであり、引き続き用地調査及び用地買収を実施する。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 芦北ICから津奈木IC間については、用地調査及び用地買収に時間を要していたが、津奈木ICから水俣IC間については、用地調査を推進する。 また、水俣ICから出水IC間については、都市計画手続きに伴う環境アセスメントの推進を図る。			
施設の構造や工法の変更等 道路規格の見直し（第1種第2級から第1種第3級）縦断線形の見直しによる構造物の縮小を検討し、コスト縮減を図っている。			
対応方針		事業継続	
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図 			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。